

平成 26 年度 健康実態調査の結果について (概要)

1. 調査の目的

平成 24 年 9 月に「カネミ油症患者に関する施策の総合的な推進に関する法律」が施行され、「カネミ油症患者に関する施策の推進に関する基本的な指針」(厚生労働省・農林水産省告示)に基づき、カネミ油症患者の生活習慣、病状、治療内容等について把握し、カネミ油症に関する調査研究を更に推進することを目的とする。

2. 調査期間

平成 26 年 4 月～6 月末

3. 調査対象及び回答者

各都道府県で把握している 1,651 人(前年 1,590 人)の認定患者(平成 26 年 3 月 31 日時点の推計生存認定患者)のうち、死亡や所在不明の方、非協力の意向を示された方を除く 1,437 人(前年 1,406 人)に調査にご協力頂いた。

4. 調査項目

全国油症治療研究班(厚生労働科学研究費補助金による)で、カネミ油症患者の意見を聞きつつ決定した生活習慣、健康状態や悩み・治療状況、これまでにかかったことのある病気・症状などの項目を調査した。

5. 調査結果の活用

調査結果については、アンケートに基づく調査の医学的・科学的解釈の限界に留意しつつ、全国油症治療研究班(厚生労働科学研究費補助金による)において、過去の検診結果等と併せてより詳細な解析を行い、翌年度以降の健康実態調査項目などカネミ油症に関する調査研究に活用される予定である。

6. 調査結果の概要

(1) 性別

・男性 687 人(前年 670 人)、女性 750 人(前年 736 人)

(2) 年齢

・平均年齢は 63.7 歳(前年 63.8 歳)

男性 62.4 歳(前年 61.6 歳)、女性 64.9 歳(前年 65.6 歳)

・男性は、「55～59 歳」の者が 16.9%(前年 16.6%)と最も多く、次いで、「50～54 歳」が 16.6%(前年 16.6%)、「60～64 歳」が 12.2%(前年 10.7%)等の順であった。

・女性は、「50～54 歳」の者が 16.0%(前年 16.3%)と最も多く、次いで、「55～59 歳」が 14.1%(前年 12.8%)、「60～64 歳」が 12.0%(前年 10.3%)等の順であった。

(3) 生活習慣について

- ・ 1日の歩行時間についてみると、「90分以上」と回答した者が31.2%（前年30.6%）と最も多く、次いで、「30分～60分未満」が25.7%（前年26.3%）、「30分未満」が23.9%（前年22.8%）等の順であった。
- ・ 運動(スポーツ)頻度についてみると、「ほとんどしていない」と回答した者が47.9%（前年48.6%）と最も多く、次いで、「週2～4回程度」が17.7%（前年17.9%）、「ほぼ毎日」が14.6%（前年14.0%）、「週1回程度」が14.6%（前年13.5%）等の順であった。
- ・ 飲酒頻度についてみると、男性では「ほぼ毎日飲む」と回答した者が32.2%（前年32.2%）と最も多く、女性では「飲まない」と回答した者が69.2%（前年70.5%）と最も多かった。
- ・ 喫煙状況についてみると、「吸わない」と回答した者が男性38.7%（前年37.3%）・女性85.6%（前年86.1%）ともに最も多かった。
- ・ 睡眠時間についてみると、「6時間以上7時間未満」と回答した者が35.0%（前年35.3%）と最も多く、次いで、「5時間以上6時間未満」が25.2%（前年26.4%）、「7時間以上8時間未満」が17.4%（前年17.8%）等の順であった。
- ・ 労働時間についてみると、「4時間未満」と回答した者が30.3%（前年28.2%）と最も多く、次いで「10時間以上」が13.4%（前年13.2%）、「8時間以上9時間未満」が13.0%（前年13.9%）等の順であった。
- ・ 常用しているサプリメント・健康食品・漢方薬の有無についてみると、28.8%（前年28.9%）が「ある」と回答した。

(4) 健康・悩み・ストレスについて

- ・ 日常生活での悩みやストレスについて、「ある」と回答した者は79.5%（前年80.4%）であった。また、「ある」と回答した1,142人（前年1,131人）を対象に、悩みやストレスの最も気になる原因(1つ)を質問したところ、「自分の病気や介護」と回答した者が372人（前年398人）32.6%（前年35.2%）と最も多かった。

(5) 介護や日常生活動作の状況について

- ・ 病院や診療所への入院、介護施設への入所状況についてみると、5.2%（前年5.4%）の者が入院中若しくは入所中であった。
- ・ 要介護認定の状況についてみると、40歳未満の回答者を除いた1,431人（前年1,396人）男683人（前年663人）女748人（前年733人）のうち、12.2%の175人（前年154人）男53人（前年50人）女122人（前年104人）の者が要介護認定を受けていた。

(6) この 1 年間の治療状況について

- ・現在の受診頻度についてみると、「毎月 1~3 回程度」が 45.0% (前年 42.2%) と最も多く、次いで「数か月に 1 回程度」が 26.6% (前年 27.6%) 等の順であった。
- ・この 1 年間の治療の内容(複数回答)をみると、「外来で治療を受けた」と回答した者が 75.2% (前年 75.5%) と最も多く、「入院した」が 11.9% (前年 14.1%) 等であった。
- ・この 1 年間の油症検診の受診についてみると、「はい」と回答した者は 45.7% であった。

(7) 油症患者受療券の使用状況について

- ・油症券の使用についてみると、29.5% (前年 28.4%)、男 30.4% (前年 29.0%)、女 28.7% (前年 28.0%) の者が油症券を使用していた。
- ・1,007 人 (前年 967 人)、70.1% (前年 68.8%) が、この 1 年間、油症券を使用せずに受診した経験があり、うち 263 人 (前年 306 人)、26.1% (前年 31.6%) が「油症券の使用を希望する医療機関がある」と回答した。

(8) これまでにかかったことのある病気・症状

- ・これまでにかかったことのある病気・症状については、「腰痛」が 68.1% (前年 72.7%) と最も多く、次いで、「肩こり」が 60.5% (前年 64.4%)、「手足のしびれ」が 53.4% (前年 57.6%)、「全身倦怠感」が 53.0% (前年 63.4%)、「皮膚の掻痒」が 52.8% (前年 58.1%)、「頭痛」が 46.8% (前年 49.6%)、「せき」が 46.7% (前年 48.0%)、「便秘」が 43.1% (前年 51.1%)、「虫歯になりやすい」が 42.7% (前年 46.4%)、「歯周病」が 42.5% (前年 45.9%)、「高血圧」が 41.2% (前年 40.8%)、「たん」が 41.2% (前年 45.4%)、「湿疹がでしやすい」が 40.1% (前年 47.1%) 等の順であった。

(9) 自由記載欄について

本調査では、「これまでの症状や病気について、書ききれなかったことや、特に研究してもらいたいこと、要望など」について自由記入欄を設けたところ、306 人 (前年 398 人) から回答があった。

主な記載内容

- ・自分、家族の健康に関する不安、生活上のストレス等について 235 件 (前年 238 件)
- ・職業 (仕事) に関する苦勞について 7 件 (前年 8 件)
- ・経済的な苦勞について 6 件 (前年 11 件)
- ・治療法の研究開発への要望、期待 29 件 (前年 60 件)
- ・病院、医師、検診に関する要望 12 件 (前年 27 件)
- ・行政機関に対する要望 28 件 (前年 46 件)
- ・カネミ倉庫に対する要望 5 件 (前年 3 件)
- ・その他 35 件 (前年 35 件)